

2025年6月3日

各 位

インフラファンド発行者名
ジャパン・インフラファンド投資法人
代表者名 執行役員 佐々木 聡
(コード番号 9287)

管理会社名
ジャパン・インフラファンド・アドバイザーズ株式会社
代表者名 代表取締役 佐々木 聡
問合せ先 チーフ・フィナンシャル・オフィサー 深山 陽
TEL:03-6264-8524

系統用蓄電池設置及び本投資法人が保有するFIT太陽光発電所における
FIP転換（蓄電池併設）工事に関する基本合意書の締結に関するお知らせ

ジャパン・インフラファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する資産運用会社であるジャパン・インフラファンド・アドバイザーズ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）は、株式会社サンヴィレッジ（以下「サンヴィレッジ」といいます。）との間で「系統用蓄電池設備設置及びFIT太陽光発電所のFIP転換（蓄電池併設）工事に関する基本合意書」（以下「本件基本合意書」といいます。）を本日付けで締結することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

【本件基本合意書締結の背景及び概要】

1. 系統用蓄電池設備設置について

- （1）系統用蓄電池は、再生可能エネルギーの変動緩和や電力系統の安定化など様々な効果が期待されているため、本資産運用会社にて本投資法人での系統用蓄電池の取得につき検討を進めております。
- （2）今般、サンヴィレッジが土地利用権を確保する予定の中部・関西エリアの複数カ所において、同社が系統用蓄電池設備一式を設置し、将来的に本投資法人にて当該設備を取得することに向けた専属的な交渉に関して、一定の合意に達しました（注）。

（注） 本日現在において、本投資法人が上記系統用蓄電池設備等の取得を決定した事実はなく、本投資法人が系統用蓄電池設備等を取得できる保証もありません。また、本投資法人は、系統用蓄電池設備等を取得する義務を負うものでもありません。

- （3）系統用蓄電池の設置導入は、電力系統の安定運用と再生可能エネルギーの普及促進に資することから、本投資法人による系統用蓄電池に関する事業推進について、引き続き本資産運用会社にて検討を進めてまいります。

2. FIP転換（蓄電池併設）工事について

- （1）近年、太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーの導入が急速に拡大するに伴い、電力系統が不安定化し、再生可能エネルギーの出力制御が頻繁に発生する事態が生じています。
- （2）とりわけ九州エリアにて出力制御が多数実施されていることから、本投資法人が保有している九州エリアのFIT（注1）太陽光発電所についてFIP（注2）太陽光発電所への転換並びに蓄電設備の併設工事の実施について、本資産運用会社及び設置工事の事業主体となり得るサンヴィレッジにて共同で検討を行うことについて合意いたしました。

（注1）「FIT」は「Feed-in Tariff」の略称。再エネ特措法に基づく、再生可能エネルギー発電設備を用いて発電

した再生可能エネルギー電気について、その利用を促進するために、電気事業者があらかじめ定められた価格、期間、その他の条件に基づき当該再生可能エネルギー電気を調達する制度（固定価格買取制度）を意味します。

（注2）「FIP」と「Feed-in Premium」の略称。再エネ特措法に基づく、再生可能エネルギー発電設備を用いて発電した再生可能エネルギー電気について、市場取引等（再エネ特措法に定義する意味によります。）による供給を促進するため、供給促進交付金（再エネ特措法に定義する意味によります。）の交付を行う制度をいいます。

なお、経済産業省は、早ければ2026年度よりFIP太陽光発電所の出力制御順位をFIT太陽光発電所の後順位とする方針を公表しています。これにより現行のFIT太陽光発電所をFIP太陽光発電所へ転換し、出力制御を大幅に減少させるとともに、併設蓄電池による市場取引の活用を通じた収益の向上が期待されます。

3. 本件基本合意書締結の意義について

系統用蓄電池の導入及びFIT太陽光発電所のFIP転換（蓄電池併設）は、本投資法人のアセットの多様化及び収益の向上に貢献することが期待されます。本資産運用会社が本件基本合意書に基づき蓄電池の活用検討を進め、本投資法人による系統用蓄電池設備の取得や蓄電池併設のFIP転換を実現することができることとなった場合には、将来の資産規模の拡大及び収益の安定・向上に資するものと考えられ、また、これらへの投資を通じて、発電事業者である賃借人SPCを経由しながら脱炭素社会の推進、再生可能エネルギーの普及等の社会貢献、ひいては本投資法人の投資主価値の向上に資するものと考えています。

【系統用蓄電池イメージパース】 ※サンヴィレッジ提供



【サンヴィレッジについて】

同社は2012年の創業以来、北関東を中心に太陽光発電所の開発、建設を進め、近年は非FIT太陽光発電所の開発にも積極的に取り組んでいる会社です。現在全国各地で系統用蓄電池所の開発と建設を進めており、今後250か所（合計出力500MW）達成を目標に事業を進めています。

社名：株式会社サンヴィレッジ

代表：三村 挑嗣

所在：栃木県足利市寺岡町351

会社ホームページ：[株式会社サンヴィレッジ](https://www.sunvillage.co.jp/)

なお、本資産運用会社のスポンサーである丸紅株式会社の子会社である丸紅新電力株式会社はサンヴィレッジと非FIT 太陽光発電所の開発を通じた再生可能エネルギー電力の普及に向けて、協業拡大を目的とした資本業務提携をリリースしています。詳細は下記丸紅新電力株式会社のニュースリリースをご参照ください。

[株式会社サンヴィレッジとの資本業務提携のお知らせ | 丸紅新電力](#)

4. 業績への影響について

現時点において 2025 年 1 月 21 日付「2024 年 11 月期 決算短信」にて公表している本投資法人の 2025 年 5 月期の運用状況の予想について、重大な影響はありません。

以上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://ji-fund.com/>